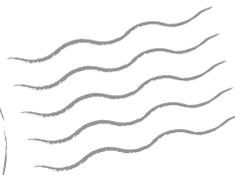


わおん 通信

2016
秋号
vol.22



特集

エコ暮らし 隣は何をする人ぞ

アンケート結果から見る、しやすい対策・しにくい対策



CONTENTS

P2 - P3

県内地域の取り組み

子供たちの初体験、喜びも大きく
ECOへの関心の高さ
たのしく積極的に取り組める場作り
旬の食材からエコを考えてみよう

新連載 推進員歌舞ちゃんの
あ〜なって、こ〜なっちゃった!

P4 - P5

エコ暮らし 隣は何をする人ぞ

アンケート結果から見る、しやすい対策・しにくい対策、

P6 県情報

第4次和歌山県環境基本計画を
策定しました!!

P7

推進員さん訪問記¹⁸
なるほど ザ・ワード

P8

INFORMATION

子供たちの初体験、喜びも大きく

2016年6月6日
白浜・ごみと環境フェア

[ストップ温暖化岩出の会]



アルミ缶発電体験

今年で20回目となる白浜町主催の「ごみと環境フェア」にストップ温暖化岩出の会として初出展しました。さまざまな環境団体が出展しており、地元小学生が制作したごみやエコに関するポスターや

展示物などが主役でした。当会の出展内容は、4種類の発電体験(熱エネルギー差発電、備長炭の木炭発電、瓜の果物発電、アルミ缶発電)と、ユーザーカーの製作、ペットボトルで雲づくりなどを用意しました。これらの体験は親子などで楽しんでもらうのがねらいです。今回、町内7小学校から116名が参加し、それぞれに制作の材料と地球温暖化学習冊子を手渡ししました。子供たちは、初めての体験ばかりでも喜んでおり、エネルギーへの感心が高まった様子でした。

(推進員 城 保宏)

ECOへの関心の高さ

2016年6月12日
和歌山市ぶらくり丁商店街マーケット出展



商店街マーケット(※1)にブース出展し、環境省が昨年7月から開始した国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の普及啓発やアンケート調査を行いました。回答者の9割以上は、ブース前に広げたブロック(※2)で遊ぶ子供たちのパパやママで、年代は20〜30代でしたが、「アンケート調査に快く応じる」、「活動内容の説明に興味深く耳を傾ける」という点において、それは『みな一様』で、社会的にも重要な世代のECOに対する関心の高さを強く実感することができました。県センターでは、2017年3月迄毎月この活動を継続する計画で、ご協力ください

る方を募っています。何はさておき、いっになく賑わうぶらくり丁商店街をみなさんも体感してみたいかがでしょうか。その際は、ぜひセンターのブースにお立ち寄りください。

(推進員 西出いづみ)

(※1)ぶらくり丁商店街にて毎月第2日曜日開催しているポポロハスマーケット(ポポロ市民、ロハスLohas→lifestyles of health and sustainability:健康で持続可能な生活様式の頭文字をとった略語)
(※2)「木の国エコ・リレー」でカーボンオフセットした、木の国クルジット(寄附)付き商品

たのしく積極的に取り組める場作り

はしもとエコロジー学園

[伊都・橋本地球温暖化対策協議会]



持続可能な社会の発展のために、資源の再利用や循環(3R)、省エネルギーなど、子供たちがものづくりや体験を通して共に考えていく場として開設した「エコチャレンジ教室」を実施中です。5月の



「アロマせっけんづくり」からはじまり、夏休みは「カラフルチョークづくり」や「ソーラークッカーづくり」を実施、これまでに延べ150名以上の子供たちが参加。「夏休みの自由研究にもなるし、エコの体験はたのしい」と好評を得ています。これまでに8回開催しましたが、毎回参加する子供もおり、今後任命書の交付も検討しています。将来を担う子供たちに「わたしたちの地球」を考える機会として、引き続き継続、発展していきたいと考えています。

(推進員 黒井成男)



今年も、夏休み中の出前教室としてエネルギーと身近な生活とを合わせて考えてみようというこの企画も3年目を迎えました。今年はソーラークッカーや学習スライドに加えて、新たに作成した「和歌山の旬の食材カード」を使った学習を行いました。和歌

旬の食材から エコを考えてみよう

夏休み子供エネルギー教室

[海南市・かつらぎ町・九度山町学童保育所]



山県は果樹を中心に農産物や水産物が豊富であること、地元で取れたものを食べること、で温暖化防止にもつながることを伝えました。また、自分の手で電気をおこせる手回し発電機も活用。電気にはプラスとマイナスの極性があることを動かしながら学びました。さらに共同作業としてラジカセの音楽を鳴らせられるかに挑戦。いくつかの発電機で音が出るかの実験も行ないました。子供たちは「自分の手で電気をつくれることがわかっておもしろかった」ととても感激した様子でした。

(推進員 中谷教子)

推進員
歌舞ちゃんの
新連載

あ~なって、こ~なっちゃった!

自分サイズの暮らし求めて…

1997年、和歌山への移住を機に、比較的大型のテレビ1台とエアコン2台を捨てた。以来、夏はウチワと扇風機、冬は灯油ファンヒーターと着膨れで凌いできた。2001年、14型の小型テレビが壊れてからはテレビ無しの生活に。今、うちにある主な家電製品と言えば、15年落ちの「非」省エネの小型冷蔵庫とノートPC、扇風機2台、こたつと灯油ファンヒーター各1台。(少なっ!)今年の6月の電気料金は2,564円と過去最低を記録。「よしっ!この調子で夏を乗り切るぞっ!」と意気込み、天井裏全面に断熱材を入れた。が…、8月の酷暑の夜、禁断(引越し先に設置されていた「超・非

省エネ型20年落ちエアコン)のスイッチを入れてしまった…。「我慢は禁物♪」などと強がり、カラッと冷えた部屋でしあわせを感じつつも、推進員としての罪悪感と電気料金の請求に怯える日々…「これはどこかで挽回せねば」と心に決めた2016年の夏。

※入稿前に届いた8月の電気使用量のお知らせによると、料金は4,726円でした。ほっ。

このコーナーでは推進員の方々のCO₂削減活動を募集しています。ぜひ、「私はこんな活動をしました」という声をお寄せください。

エコ暮らし 隣は何をする人ぞ

アンケート結果から見る“しやすい対策・しにくい対策”

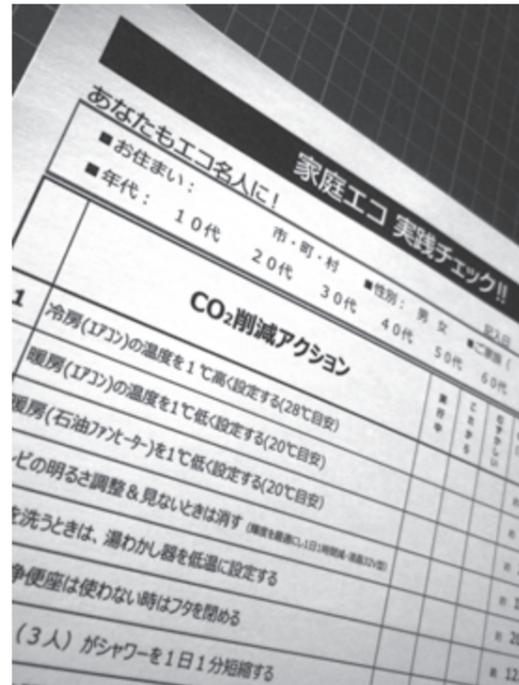
わたしたちは、たくさんのエネルギーを利用して便利な暮らしを実現しています。無駄なく上手に使うための、さまざまな工夫が求められる中、県内の人々はどのような取組を行っているのでしょうか。今回の特集は、「家庭エコ実践チェック」アンケートの結果を元に、傾向を探ってみたいと思います。

◆取得データ

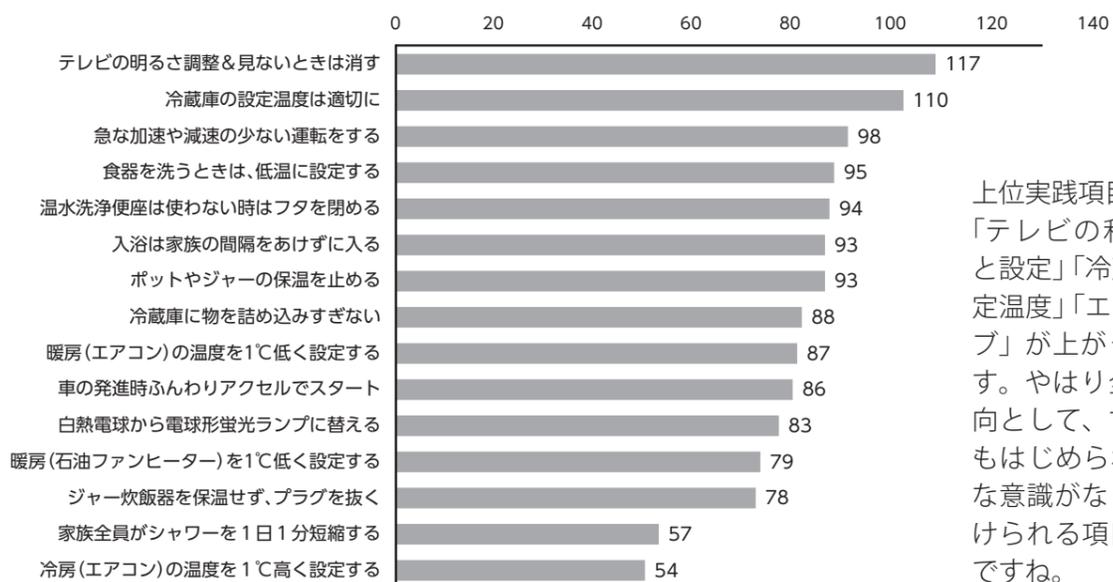
このデータは2015年6月～12月に実施された地球温暖化防止のイベント・学習会場にて取得した297人の回答をもとに作成しました。各会場で地域協議会／グループが積極的に声かけを行い集めたものです。

◆アンケート取得方法

アンケートは、省エネ対策に関する15問の質問にそれぞれ丸をつけてもらう用紙を使いました。「すでに実行している」「今後実行したい」「実行はむずかしい」のいずれかを選びます。またこの用紙は複写式になっていて、回答者に1部をお渡しできるようになっています。そして「今後実行したい」の項目の○印を計算するとCO2削減量と1年間のおおよその節約金額がわかるようになっています。

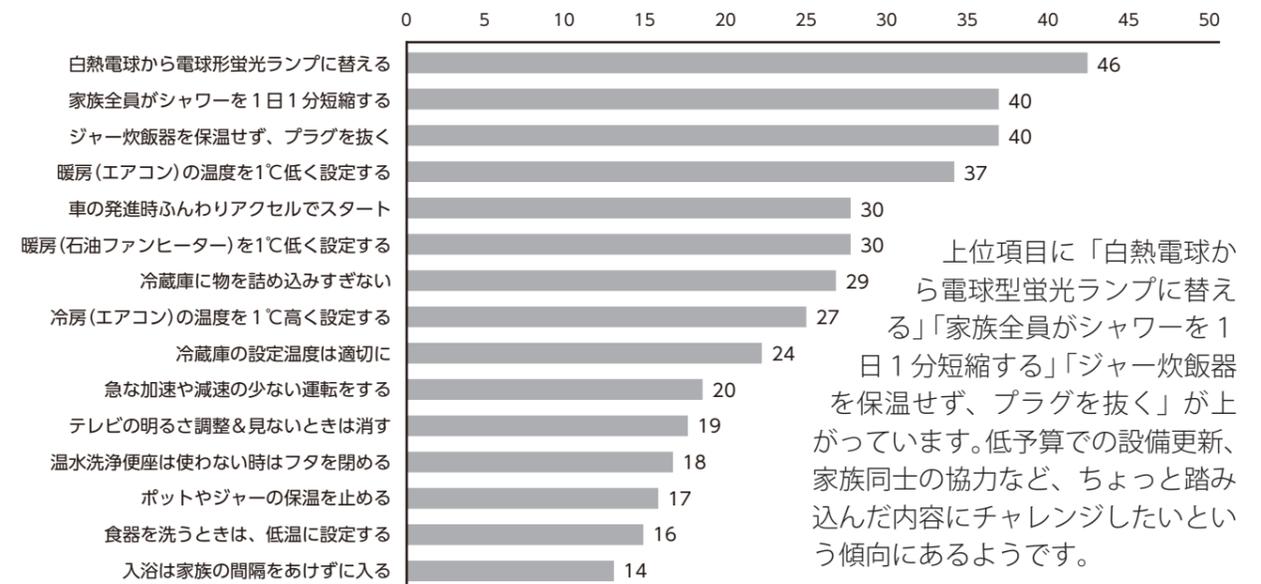


すでに実行している



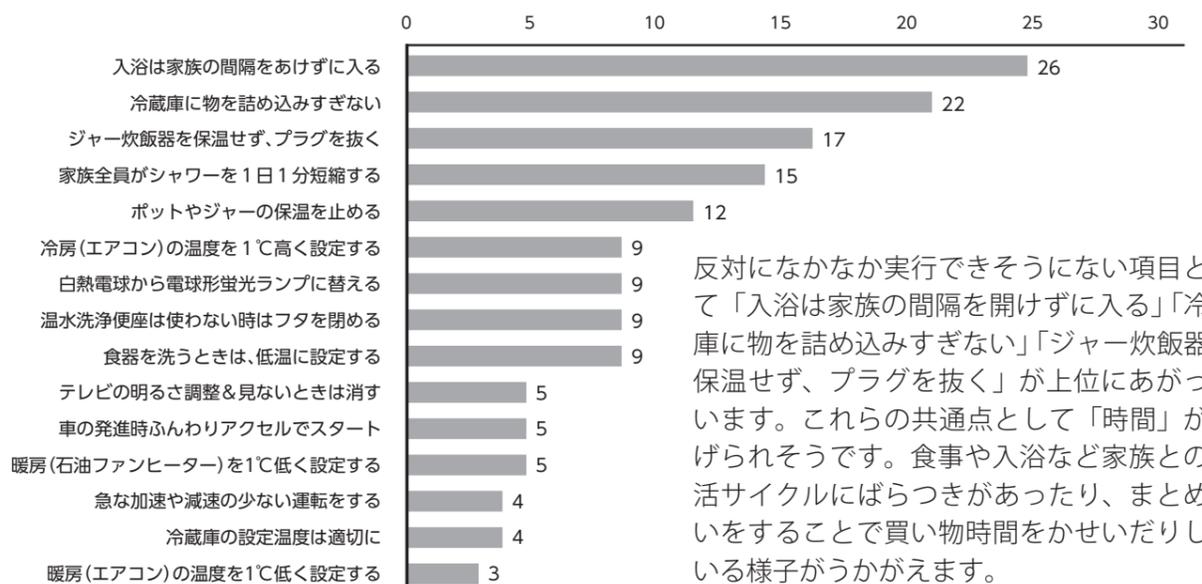
上位実践項目として、「テレビの利用時間と設定」「冷蔵庫の設定温度」「エコドライブ」が上がっています。やはり全体の傾向として、すぐにもはじめられ、特別な意識がなくても続けられる項目が多いですね。

これから実行する



上位項目に「白熱電球から電球形蛍光灯に替える」「家族全員がシャワーを1日1分短縮する」「ジャー炊飯器を保温せず、プラグを抜く」が上がっています。低予算での設備更新、家族同士の協力など、ちょっと踏み込んだ内容にチャレンジしたいという傾向にあるようです。

実行はむずかしい



反対になかなか実行できそうにない項目として「入浴は家族の間隔を開けずに入る」「冷蔵庫に物を詰め込みすぎない」「ジャー炊飯器を保温せず、プラグを抜く」が上位にあがっています。これらの共通点として「時間」が挙げられそうです。食事や入浴など家族との生活サイクルにばらつきがあったり、まとめ買いをすることで買い物時間をかせいだりしている様子うかがえます。

アンケート今年度も絶賛実施中!

あなたは、いくつ当てはまりましたか?暮らし方はそれぞれ。これからも私たちひとりひとりが、ちょっとした意識を持ち続けていくことができれば、少しでも低炭素な社会を次の世代にわたすことができると思います。
このアンケートは今年度も絶賛実施中です。

イベント会場での声かけに推進員のみなさまが欠かせません。ぜひご参加を!

※8ページの「インフォメーション」にて秋からの地域イベント情報を掲載しています
詳しくは県センターまでお問合せください

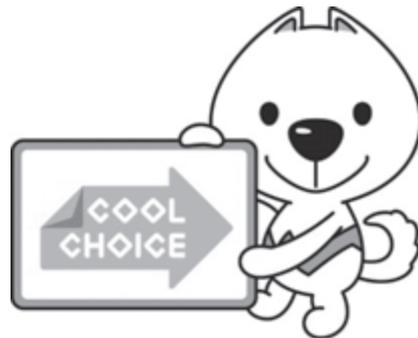
持続可能な社会 「将来にわたり住みよい環境わかやま」を目指して 第4次和歌山県環境基本計画を策定しました!!

1 和歌山県環境基本計画とは

県の環境政策の基本的な考え方や長期的な目標、また、その実現に向けてどう取り組んでいくのかを示す、本県の環境分野において最も上位に位置づけられる計画です。平成12年に第1次、平成17年に第2次そして平成23年に第3次の計画を策定しており、今回で4度目の策定となります。

2 第4次和歌山県環境基本計画について

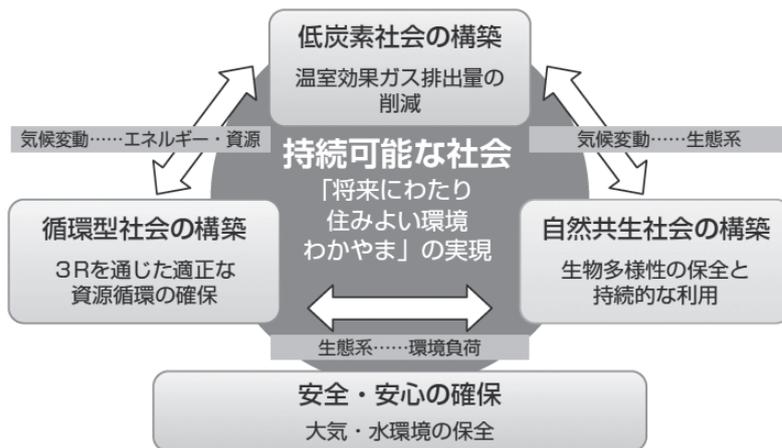
平成28年3月に策定した「第4次和歌山県環境基本計画」（計画期間：平成28年4月～平成32年3月）では、目指す将来像を「持続可能な社会～将来にわたり住みよい環境わかやま～」としました。そして、その達成のための取組の方向を、「安



COOLCHOICE ボードをもったきいちゃんが目印です。（表紙）

全安心の確保（公害対策）」を前提とした「低炭素社会の構築（温暖化対策）」、「循環型社会の構築（廃棄物対策）」、「自然共生社会の構築（自然環境の保全対策）」の三つに整理しています。

第4次和歌山県環境基本計画が目指す将来像



今後、第4次和歌山県環境基本計画と、この計画の考えに沿って策定された各分野別計画に基づき、県民、事業者、民間団体そして市町村と相互に連携、協力しながら、「将来にわたり住みよい環境わかやま」を目指し積極的に施策を進めていきます。

第4次和歌山県環境基本計画については、和歌山県ホームページからダウンロードすることができます。

和歌山県 環境基本計画

検索

http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/envplan/dai4_jikankyoukihonkeikakusakutei.html

コジローの

推進員さん^{ひよっこ}訪問記¹⁸



岩出市 鈴木 和美 さん

鈴木和美さんは11期、今年委嘱されたばかりのホヤホヤ推進員です。ご出身は大阪ですが、同地で結婚し男児2人も授かって住居が手狭になったことから、岩出町(当時)に新居を得て和歌山県に移ってこられました。

そこで子供たちが所属した少年野球で企画された美里町(当時)でのキャンプに参加したことが、環境問題に関心を持つきっかけでした。夜、家族で見上げた空には降るような満天の星。それは子供たちだけでなく大阪で育った鈴木さんにも初めての驚異の体験であり、早速天体望遠鏡を買い求めては毎晩、夜空を見る日々がしばらく続いたといえます。「あんな星空が望める環境を大切にしたい」

その後、鈴木さんは子供たちの成長に合わせスーパーのアルバイトから始めて徐々に仕事を増やし、子育てが一段落した10年前からは百貨店でフルタイム働くようになります。こうした仕事の周辺で、環境問題に関心を持ち始めた鈴木さんには、業務に伴う大量の廃棄物や過剰包装の問題などが気になりました。

その一方、職場での接客や同僚との関係から人間という存在への関心も深めていた鈴木さんは、4年制の通信制大学に入学して心理学を学び始めます。その学びの過程でも環境関連の講座があればそれを選択して受講し、環境問題についての知見を広げてきました。

そうしたなかで仕事を通じたのが商工会議所が主催するエコ検定です。鈴木さん自身の関心はもちろんですが、毎日の業務にも生かせるとのことで受験し見事合格、視野が広がると同時に、合格者対

象の研修に参加する機会にも恵まれるようになりしました。しかし、それに刺激を受けて活動しようと思っても、地元では仲間がなく一人では難しい。

そこで、和歌山で活動できる方法はないかとネットを検索してヒットしたのが推進員の養成講座でした。早速申し込んで受講したところ、大学でしか聞けないような内容の講義で非常に楽しかったとのこと。以来、和歌山市の推進員グループの会合に参加したり、スーパー量販店でのノーレジ袋キャンペーンに参加したり、参加可能な取り組みにはできるだけ参加してきました。

＝活動を始めてみていかがですか？

「仕事がありますので時間が合わずなかなか参加できないのですが、少しでも時間があれば参加しようと思ってます」

＝地元の活動で感じることは？

「関西と関東とで、環境に対する意識の差がかなりあると感じます」

「レジ袋など関東では受け取らないのがステータスですけど、こちらは単純にもらった方が得って感じ、恥ずかしいって感覚が違うのかな」

「お店の雰囲気もあって難しいでしょうけど、自分がマイバッグ持つところから始めてちょっとでも変えていきたいです」

勤めるお店で鈴木さんのいまの担当は調理器具売り場。押しつけはしませんが、関心のあるお客様には商品と環境や健康についての説明を心がけています。そうしてお客様が簡易包装を選ばれた時など、「ご協力ありがとうございます」と笑顔で言えるのがうれしいという鈴木和美さんでした。

なるほどザ・ワード

STOP温暖化・焦点の言葉 18

*地球温暖化をめぐる報道などで、いま焦点となっている言葉を簡単に解説します

『地球温暖化』と『気候変動』

「地球温暖化」とは、いうまでもなく人間活動によって大気中の温室効果ガス濃度が増えることを原因に、地球の平均気温が上昇することを指す言葉です。また、「気候変動」という言葉も良く聞きますが、これは何を指しているのでしょうか。

地球上で起きる大気現象はすべて太陽から受け取るエネルギーがもとになっています。地球が受け取ったエネルギーは大気圏や水圏、生物圏などの間を複雑に循環して最終的には宇宙空間に戻され、地球のエネルギー収支は基本的に安定しています。そもそも「気候」とは、こうしたエネルギー循環で維持されている大気の平均的な状態を指す言葉です。

もう少しわかりやすく言うと、「天気」が数秒から

2～3日、「天候」が数日から数週間の大気状態を表すのに対し、「日本の気候」「和歌山の冬の気候」など、「気候」はずっと長い期間維持されてきた平均的な状態を指す言葉であることがわかります。

ですから「気候変動」は元々、長期的に安定しているはずの大気状態が平均から外れて変動することを指す言葉で、その原因には人為的な地球温暖化だけではなく、噴火や太陽活動の変化など自然現象も含まれます。しかし、今までにない豪雨や干ばつなど「気候変動」の要素となる極端な気象現象が頻発し、その多くが地球温暖化に起因することが強く示唆されることから、「気候変動」はもっぱら地球温暖化がもたらす過激な大気状態の変化を、警告を込めて表現する言葉として使用されるようになっていきます。

まもなくしめきり [わかやま「節電所」建設プロジェクト2016] 応募×切：10月31日(月)

用紙がない方もネットからの応募が可能です⇒ **わかやま節電** **検索**

秋からのイベント開催&出展情報 [県内の対策協議会&グループ]

和歌山地域

◆くるまジャンボリー

日時：2016年10月16日(日) 10:00~15:00 (荒天中止)
場所：近畿運輸局和歌山運輸支局構内
(和歌山市湊1106番地の14)

◆ふれあい人権フェスタ

日時：2016年11月19日(土) 10:00~16:00
場所：和歌山ビッグホエール (和歌山市手平2丁目1-1)

紀中地域

◆有田川どんどんまつり

日時：2016年10月16日(日) 9:00~15:00
場所：有田川町花の里河川公園
(有田郡有田川町大字庄691-2)

◆ゆあさ「愛・あいまつり」

日時：2016年10月30日(日) 10:00~13:00
場所：湯浅町内 有田郡民体育館
(有田郡湯浅町湯浅2435-1)

◆広川町ふるさとまつり

日時：2016年11月6日(日) 10:00~16:00
場所：広川町福祉センター 2F
(広川町大字新代2165-1)

◆宮子姫みなとフェスタ (荒天中止)

日時：2016年11月13日(日) 9:30~16:00
場所：日高港(御坊市塩屋町南塩屋地内)

◆有田川ふるさとまつり

日時：2016年11月13日(日) 10:00~15:00
場所：有田川ふるさとの川総合公園
(有田市宮原町滝川原)

紀北地域

◆第27回 全国トンボ・市民サミット和歌山大会

日時：2016年10月1日(土)~2日(日)
場所：1日 13:30~<体験型見学会>
①海南市孟子 ②橋本市柱本 ③印南町切目川
2日 10:00~15:00<講演>
和歌山県民文化会館小ホール
主催：全国トンボ・市民サミット和歌山大会実行委員会
共催：NPO法人 自然回復を試みる会・ビオトープ孟子
はしもと里山学校 (柱本田園自然環境保全会)
一般社団法人ビオトープ

◆第25回 橋本市ふるさとよいとこ探し
ナチュラルブレイク

日時：2016年10月30日(日) 10:00~15:00
場所：橋本市 杉村公園 頂上広場
主催：橋本市ナチュラルブレイク実行委員会

◆第28回 かつらぎ町産業まつり

日程：2016年11月19日(土)~20日(日) 10:00~15:30
場所：かつらぎ町 かつらぎ公園グランド
主催：かつらぎ町産業まつり実行委員会

◆すこやか橋本 まなびの日

日程：2016年11月27日(日) 9:30~15:00
場所：橋本市 和歌山県立橋本体育館
主催：橋本市教育委員会

紀南地域

◆第30回弁慶まつり

日時：2016年10月1日(土) 10:00~15:30
場所：扇ヶ浜カッパーク内 (田辺市扇ヶ浜)

わかやま推進員サイト 運用中! **わかやま 推進員** **検索** 上記イベント情報も掲載しています

県センター通信

秋です。推進員活動のひとつ、イベント会場での啓発活動の季節がやってきました。今年も各地でさまざまなイベントでの出展が予定されています。県センターも、ひきつづき活動支援を行ってまいります。地域の推進員である、あなたの積極的な参加によって、温室効果ガス削減へとつながっていきます。まる1日の参加がむずかしい方も、ぜひ「時間参加」をお願いいたします。たとえば「午後から用事があるので午前だけ参加します」、「終了間際なら空いているので啓発を少しと後片付けを手伝いに行きます」などでもOKです。

